

プラットフォーム

True Dataと共同開発の新サービス POSデータ分析業務の負担を軽減

プラットフォームでは、True Dataと共同で「POSデータクレンジングサービス」を開発し、2022年内に提供を開始する。



社長 田上 田

小売業から提供されるPOSデータはフォーマットやコードが統一されていないため、メーカー側ではそれらのデータを整備する作業が発生する。

「現状では、データ整備に時間がかかり、その先のデータ分析や活用が十分に行えていないケースも少なくない。データ

整備業務を支援するPO

Sデータクレンジングサービスを導入いただければデータ分析にリソースを割くことができ、商談やマーケティング、在庫管理においても、これま

で以上にPOSデータを有効活用していただけるだろう」（代表取締役社長 長田上正勝氏）

ヤパン・インフォレックス（JII）と共同で、業界横断で正確な商品情報を提供する「GSI Japan産業横断レジストリー」構築に向けた取り組みもスタートした。

JIIの酒類・加工食品業界を中心とする商品情報と、プラットフォームの商品・化粧品・ペットフード・ペット用品業界などの商品情報が連携され、

食品、日用品の詳細な商品情報290万件が、GSIのデータベースを通じて入手可能になる。

また、プラットフォームでは、コロナ禍突入後、いち早くリモート勤務が可能な体制を整えた。現在は業務内容に合わせて出社と在宅勤務を使い分けるハイブリット型としている。「リモート勤務を実践したからこそ、リアルとオンラインを適切に使い分けることができるようになった。キックオフミーティングや企画段階の案件はリアルの方が良質なコミュニケーションをとることができ、進行も早い。が、定例会議やルーチンワークは在宅勤務が適している。今年はプラットフォームユーザー会についてもリアル開催を検討している」（田上社長）